

◆◆◆ 吉山 盛次郎 議員 ◆◆◆



赤間運動場の委託事業

**質** サッカー場に冬芝を蒔くことに関して、費用対効果として、どうい効果をおぼえているか。

**答** 社会教育課長 大城保篤

プロサッカーチーム春季キャンプの誘致等によって、村内ホテルや商業施設の利用による経済効果を想定した。

**質** 何処から話が出てきたのか。

**答** 社会教育課長 大城保篤

ホテル関係者、サムスンライオンズの選手から要望もありました。

◆◆◆ 児童・生徒の学力 ◆◆◆

**質** 2020年に実施される、学習指導要領に係る施策を伺います。

カリキュラムマネジメントは「どうい力を付けさせるかを、各学校、自治体、地域で考えなさい」ということだそう。中学校が統合されますが、どうい特色を持って学習させるのか。

アクティブラーニングは「主体的に、対話的に深い学び」ということです。それを導入するには、労力と研修が必要と思う。

ICT、更に、学校の先生は多忙を極めている。

そういう中で、子供たちの基礎学力も付けながら、どういふうにするつもりか。

**答** 学校教育課長 石川 司

英語に特化した事業を展開し、充実させていこうと思います。アクティブラーニングは、県で指定されており、学校現場で行っている。

ICTの活用で、苦慮している先生方は殆どおりません。

**質** 平成18年度から、全国学力テストの学級の点数等も発表が可

能と伺っているが、どうい状況で取り組んでいるのか。

**答** 学校教育課長 石川 司

学校毎にすると、個人が特定される可能性があるため、公表には至っておりません。ただ、各学校で自分の立ち位置は説明されている。ボイコットはありません。

**質** 高校入試に係る、志望校の分布及び成績の推移について伺います。

**答** 学校教育課長 石川 司

平成28年度は、読谷高校が25%、石川高校が16%、嘉手納高校が10%。

全国学力テストは数値上、県と一緒に、村の平均値は上がっているところ。

海浜の環境を守る為の施策

**質** 垂川下流の水質検査は、定期的に実施されているか。

**答** 村民課長 金城尚子

現在、水質検査はやっていません。悪臭、川で魚が死んでいる等の異変があった場合は、中部福祉保健所と連絡を取り水質検査等

行い、指導が行われている。

それでも、今後は村においても必要に応じ、垂川等の水質検査を検討していかなければいけないと思っている。

**質** 海浜環境の保全を維持するために対外的表示は確保され、期待どおりの良い結果が得られているか。

海浜環境を維持するために関係団体、ダイビングショップ、漁業組合と連携は構築され、実績を上げています。

**答** 建設課長 大城 学

海浜の漂着ゴミは、建設課で年2回実施しています。村民から漂流ゴミがあった場合においては、その都度対応している。

海浜の保全を維持するため、強風に耐えられるような看板を設置していきたい。

関係団体との連携については、地域ボランティア、商工観光課、村民課等と連携を取って、年に一度清掃している。

今後、商工観光課、観光協会と関連される機関と連携を取りながら、海岸の保全に努めていけたらと考えています。

◆◆◆ 佐渡山 明 議員 ◆◆◆



今年度リニューアルされたホームページ

**質** リニューアルの目的を教えてください。

**答** 総務課長 新里勝弘

高齢者等に対しての機能が少なく、また、観光や防災の情報が少なかったこと。

**質** 4月に流弾事件が発生しました。その際、村民はマスコミ報道で事件のを知り得たと思えます。ホームページで発信されたのか。

**答** 総務課長 新里勝弘

その件は、掲載しておりません。迅速に対応できるように、今後の課題だと考えております。

ふるさと納税に対する取組み ①返礼品の総数や考え方について

**質** ふるさと納税は、平成20年から始まった制度です。村の取り組みは遅れを取っておりますが、今年度の寄附金額、目標を教えてください。

**答** 総務課長 新里勝弘

「5千万円を超えたい」と考えております。

**質** 返礼品の総数を伺います。その中で、農水産物、工芸品、食料や宿泊、分類別の品数を教えてください。

**答** 総務課長 新里勝弘

現在148品目、果物4、花4、菓子3、お酒6、工芸品37、宿泊券32、ダイビング関連24、その他、コーヒー、石けん、食事が10件となっております。

**質** 種類の中で、特に農水産物、果物4、お花4、海産物に至っては答えが「ゼロ」。

全国的な傾向として、寄附を多く頂いている村は、農水産物など地域に特化した品々を多く取り扱っております。特産品を増や

して頂きたい。

**答** 総務課長 新里勝弘

確かに、農家等への周知の方が上手くっております。海ぶどう等、参入して頂きたいと願っている。

各農家にも、参入して頂きたいと提案していきます。

ふるさと納税に対する取組み ②使途について

**質** ふるさと納税では、寄附者に使い道を決めて頂く仕組みとなっておりますが、村のメニューを伺います。

**答** 総務課長 新里勝弘

①自然環境の維持、再生及び地域振興に関する事業。②子育て支援及び健康づくりに関する事業。③青少年の育成に関する事業。

**質** 自然環境の維持や再生に関する事業で、私は海辺の環境を守る為にも、畑地に防風林、防潮林として、村木フクギを植えていくことを提案します。

ある方が「恩納村の村木はフクギですが、主要道路を走ってもフクギの植樹は一度も見ることがありません」と、おっしゃっています。

した。

村の原風景にもマッチングするフクギが、区画毎の畑地で成長したことを想像しますと、陸地も栄え、海にも養分が行き渡り、持続可能な恩納村の未来を想像することができます。

成長した40年後の原風景、ご感想を伺います。

**答** 総務課長 新里勝弘

各集落、村木フクギからブロック塀が変わって消えております。村としても、赤間運動場等に積極的にフクギは植栽しておりますが、今後、関係課を含めて議論します。

**質** 寄附金の活用で、「村の判断に委ねる」ということを、追加して頂きたい。そのことにより、政策財源の原資になると考えております。

**答** 総務課長 新里勝弘

使途の指定をされないケースも多くなると考えております。規則の変更を行って、自由度のある財源にしていきたくと考えております。